

平成22年5月6日現在

研究種目：基盤研究 (B)
 研究期間：2007～2010
 課題番号：19300264
 研究課題名 (和文) 子どもの遊びと環境学習を目的とした生態心理学的な環境デザインに関する研究
 研究課題名 (英文) A study on environmental design for children's ecological learning by using ecological psychology
 研究代表者
 伊東啓太郎 (KEITARO ITO)
 九州工業大学・工学研究院・准教授
 研究者番号：10315161

研究代表者の専門分野：環境デザイン学、植物生態学

科研費の分科・細目：科学教育・教育工学

キーワード：子ども 環境デザイン 環境学習 アフォーダンス 生態心理学 遊び 環境再生

1. 研究計画の概要

子どもにとって「遊び」は、自然のしくみを知り、生活の知恵を身につけるための重要な体験である。しかし、特に日本の都市部では、かつて誰もが体験できた遊びや体験型の環境教育を実践していくことは難しいのが現状である。このような現状の中で、身近に残された自然空間やオープン・スペースを、「子どもの遊び環境としての自然環境の修復」と「環境学習」を目的として創造していくことは重要な課題である。このような課題に対する解答を得るために、研究代表者 (伊東) らは、日本における環境計画や環境教育のありかたについての問題について明らかにし、生態心理学的な環境デザインを行うと同時に、ノルウェー・ドイツの研究者との共同研究、議論を行ってきた。本研究では、実際の計画・設計プロセスと日欧の比較研究を通して、身近なオープン・スペースを、「地域の自然環境の修復・再生」、「環境学習」、「住民参加」、「子どもの遊び」の場として活用できるような新しい環境計画の手法と環境学習のプログラムを開発することを目的として研究を行っている。

2. 研究の進捗状況

21年度は、1年間にわたって、子どもと保護者、教員、地域住民など地域社会の意見を計画プロジェクトに反映させることを目的として、福岡市壱岐南小学校ビオトープにおいて10回、北九州市内の街区公園である夜宮公園の基本設計および環境再生計画ワークショップを8回、また、遠賀川多自然魚道公園の基本設計ワークショップを6回にわたって開催した。それぞれの設計サイトにおいて、基本設計が終了し、夜宮公園では、22年5月に施工が完了する予定である。

2009年6月、伊東は、日本景観生態学会にて、夜宮公園の設計プロジェクトについて講演、また8月にはインド・Teri大学において、ビオトープのデザインプロセスについて特別講義、さらに9月には、ノルウェー、オスロにおいて、都市における緑のリハビリテーションと題して講演を行った。10月には、共同研究者のFjortoftが九州工業大学において招待講演及び共同調査を実施した。本研究は、How green environments afford play habitats and promote healthy child development. A mutual approach from two different cultures: Norway and Japanとして執筆、2010年に出版予定である。

3. 現在までの達成度

当初の計画に沿って進展している。

(理由) 予定していた環境デザインのサイトの基本設計、実施設計、ワークショップが予定通り進み、22年度から施工、活用の段階に入ることができるため。

4. 今後の研究の推進方策

施工が完了したサイトでは、これから、実際に子ども、先生、地域の人々と実際の活用に関するワークショップを行うと同時に、活用のための教材開発にも着手することができるため、ハード整備と環境教育プログラムを含めた新しいソフト整備の両方の視点にて推進することを検討している。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

① Ingunn Fjortoft and Keitaro Ito,

How green environments afford play habitats and promote healthy child development. A mutual approach from two different cultures: Norway and Japan, Science without Borders. Transactions of the International Academy of Science H&E, 2010, in printing, 査読有

②Hiroaki T. Ishii, Tohru Manabe, Keitaro Ito, Naoko Fujita, Ayumi Imanishi, Daisuke Hashimoto, Ayako Iwasaki, Integrating ecological and cultural values toward conservation and utilization of shrine/temple forests as urban green space in Japanese cities, Landscape Ecological Engineering, 2010, in printing, 査読有

〔学会発表〕(計6件)

①Keitaro Ito, Ingunn Fjortoft, Tohru Manabe, Kentaro Masuda, Mahito Kamada and Katsunori Fujiwara, Green rehabilitation in urban area in Japan. -planning process of school biotope for 5 years, Ecology and forest for public health, 2009, 2009.09.18, Soria Moria Hotel, Oslo Norway

②Keitaro ITO, Design for the process: The Place for the experience, Special Lecture at Teri University, India, 2009.08.05, Teri University, Delhi, India

③伊東啓太郎, ひとをつなぐ緑のデザイン, まちとみどりのシンポジウム, 2009.10.23, 九州工業大学

④伊東啓太郎, 榎本敬子, 真鍋徹, 山根明弘, 山本礼子, 阪田暁, 松本識史, 大村康一郎, 都市における水辺再生デザインのプロセスについて -北九州夜宮公園での住民参加と設計事例-, 日本景観生態学会 19 回大会, 2009.06.27, 新潟大学, 新潟市

⑤阪田暁, 伊東啓太郎, 北九州市における社寺林及び都市公園を対象としたエコロジカルネットワーク構築手法に関する研究, 日本景観生態学会 19 回大会, 2009.06.27, 新潟大学, 新潟市

⑥山本礼子, 伊東啓太郎, 都市の水辺空間における子どもの遊びと自然体験に関する研究, 日本景観生態学会 19 回大会, 2009.06.27, 新潟大学, 新潟市

〔図書〕(計1件)

Keitaro Ito, Ingunn Fjortoft, Tohru Manabe, Kentaro Masuda, Mahito Kamada and Katsunori Fujiwara, Urban Biodiversity and Design, "Conservation Science and Practice Series", (eds)N. Muller, P. Werner, J. G. Kelcey, Landscape Design and children's participation in a Japanese

primary school - Planning process of school biotope for 5 years - Wiley-Blackwell, Oxford, UK, 2010, in printing

〔産業財産権〕

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕